

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部

令和3年10月発行

10月号の自立活動だよりは、小学部の1ブロック低学年より1年生、2ブロックの1年生の自立活動の取組について紹介します。

自立活動の授業形態は、子どもの実態や目標に応じて個別または小集団で行い、活動内容も様々です。個人のねらいは自立活動の内容に関連づけて考えています。

【1ブロックの取組】

1年生Aさんの事例

*ねらい

『環境の把握』

- ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成

『身体の動き』

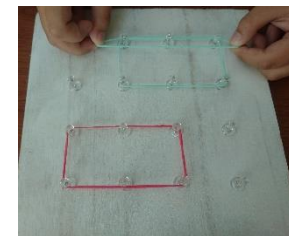
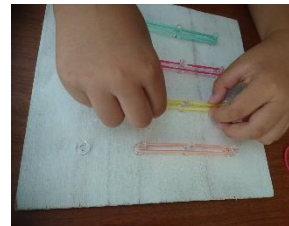
- ・作業に必要な動作と円滑な遂行

*活動内容

自分と物の位置や空間の関係を理解できるように、手作りのジオボードで児童の実態に合わせて、ドットは少なく、掛けた輪ゴムが外れにくいようにしています。手指の巧緻性を高め、指先で物をつまんだり放したりして、生活に必要な動作を獲得できるように「見本に掛けてある輪ゴムと同じ色の輪ゴムを選択し、同じ場所に重ねる」活動を中心に取り組んでいます。この際に作成する形で輪ゴムを交差したり、四角、三角などの図形を作ったりして、位置や空間についての認知面を高める狙いで取り組んでいます。

*経過・成果

当初は輪ゴムを掛ける際に、左右に引っ張り同時に掛けようとするため、上手く掛けられませんでした。一緒に操作する中で、片方を先に掛けて抑えながら引っ張る動作が定着してきました。起点・終点の意識付けにもなったと思います。操作が安定してくると、複雑な形や多くの輪ゴムを用いても、作成できるようになり、意欲的に取り組むようになりました。



1年生Bさんの事例

*ねらい

『人間関係の形成』

- ・自己の理解と行動の調整
- ・集団への参加の基礎

『コミュニケーション』

- ・コミュニケーション手段の選択と活用

*活動内容

ひらがな並べ パズル 運筆
手指の操作性課題（洗濯バサミ）等



「れ、れいそうこ」と読みながらカードを並べます。ひらがなカードを並べた後は、聞き取りクイズにも挑戦しています。

*経過・成果

いずれの課題においても、教師と受け応えをしながら進めていく内容を取り入れています。ひらがな並べは、「カードをください。」と伝えてから受け取り、「できました。」と報告するやりとりも大切にしています。課題の順番や取り組み方に毎回変化をつけながら、回数を重ねることで、文字、発音、単語など、いくつかの情報を結びつけながら覚える様子が見られます。



【2ブロック1年生の取組】

2ブロックの「時間における指導」は毎日2限目に設定しています。1年生も入学して半年が過ぎ、自立活動の学習も定着し、積み重ねていっています。

1年生Cさんの事例

*ねらい

『身体の動き』

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- ・身体の移動能力に関する事

*活動内容

体幹の安定 歩行の練習
手指の操作性課題（箸の練習、洗濯バサミ）

*経過・成果

粗大運動と微細運動の2つの面の向上をねらっています。特に粗大運動では安定した独立歩行を目標に体幹トレーニングや重心移動、マット上での歩行練習といった課題に取り組んでいます。一学期間取り組み続けた結果、少しずつ歩行距離が伸びてきており、課題であった方向転換も、倒れずにゆっくり身体の向きを変えられることが増えてきています。



おなかの上にボールをのせてキープ! 1, 2, 3...10までできるかな



目印と同じ色の洗濯ばさみはどれかな?

1年生Dさんの事例

*ねらい

『健康の保持』

- ・身体の各部の状態の理解と養護に関する事

『身体の動き』

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段に関する事

*活動内容

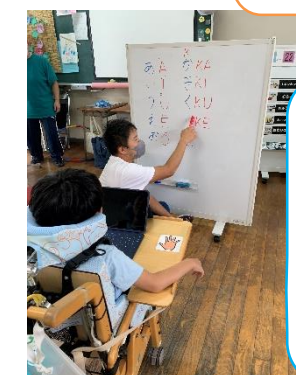
各部位のストレッチ 寝返り・起き上がり練習
座位姿勢保持 歩行練習（介助歩行・歩行器）等

*経過・成果

活動中、何故身体を動かしているのか、どの部位をどう動かすのか等を言語化して児童に伝えることで、本人も納得して取り組んでいます。目標を共有することで苦手な活動も頑張ろう、と前向きに取り組めたり、タイマーを参考にして昨日より長い時間姿勢を保持できるように意識できたりしています。



手のひらをしっかり開いてボールをコロコロして手の運動



児童が、やってみよう!と言った活動（ブロックやローマ字など）も大切にしつつ個々の課題に応じた取り組みをしています。